

指示があるまで開いてはいけません。

平成22年度

クリーニング師試験問題

衛生法規に関する知識

公衆衛生に関する知識

洗たく物の処理に関する知識

(注意事項)

- 1 解答用紙の記入欄に受験番号及び氏名を記入してください。
- 2 答えは、解答用紙に記入してください。
- 3 試験開始後30分を経過するまでは、退室できません。
- 4 退室するときは、解答用紙を裏返して机の左側においてください。

衛生法規に関する知識

問1 次の文章は、クリーニング業法に関する記述です。()にあてはまる最も適切な語句を下の語群から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ クリーニング所を(①)しようとする者は、厚生労働省令の定めるところにより、クリーニング所の位置、構造設備及び従事者数並びにクリーニング師の氏名その他必要な事項をあらかじめ都道府県知事に(②)しなければならない。
- ・ 営業者は、洗たく物の受取及び引渡しをしようとするときは、あらかじめ、利用者に対し、洗たく物の(③)等について(④)するよう努めなければならない。
- ・ クリーニング師の免許は、(⑤)がクリーニング師試験に合格した者に与える。

| | | | |
|-----------|---------|-----------|-------|
| ア. 登録 | イ. 説明 | ウ. 免許 | エ. 開設 |
| オ. 機械 | カ. 処理方法 | キ. 届出 | ク. 申請 |
| ケ. 厚生労働大臣 | コ. 資質 | サ. 都道府県知事 | シ. 消毒 |

問2 次の文章のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング業を営む者は、クリーニング所以外の場所においても、営業として洗たく物の処理を行うことができる。
- (2) 営業者は、クリーニング所(洗たく物の受取及び引渡のみを行うものを含む。)ごとに、1人以上のクリーニング師を置かなければならない。
- (3) 単に洗たく物の受け渡しをする施設であっても、クリーニング業法の適用を受ける。
- (4) 繊維製品を使用のため貸与し、使用済み後はこれを回収して洗たくのうえ、さらにこれを貸与することを営業とするいわゆるリネンサプライ業は、クリーニング業である。
- (5) コインランドリーもクリーニング業に該当する。

問3 次の文章は、クリーニング業法の営業者の衛生措置等に関する記述です。
()にあてはまる最も適当な語句を下の語群から一つ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ 営業者は、洗たく物をその (①) に応じて区分して処理しなければならない。
- ・ クリーニング所の洗場については、床が (②) で築造され、これに適当なこう配と (③) が設けられていなければならない。
- ・ 伝染性の疾病にかかっている者が使用した物として引き渡された洗たく物は、他の洗たく物と (④) しておき、これを洗たくするときは、その前に (⑤) すること。

| | | | |
|-----------|----------|---------|--------|
| ア. 確認 | イ. 区分 | ウ. 目的 | エ. 料金 |
| オ. 処理方法 | カ. 保管方法 | キ. 用途 | ク. 消毒 |
| ケ. 不浸透性材料 | コ. 浸透性材料 | サ. 滑り止め | シ. 排水口 |

問4 次の文章のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、脱水機の効用をも有する洗たく機を備える場合は、脱水機は備えなくてもよい。
- (2) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、都道府県知事が指定した研修を業務に就いたときに1回受ければ、その後は受けなくてもよい。
- (3) クリーニング所を設けないで洗たく物の受取及び引渡しをすることを営業としようとする者は、クリーニング業法の適用を受けない。
- (4) クリーニング師は、免許を得た都道府県以外では、クリーニング師としての業務に就くことはできない。
- (5) クリーニング所の営業者は、洗たく物の受取及び引渡しをするに際して、利用者に、苦情の申出先を明示しなければならない。

公衆衛生に関する知識

問1 次の記述の()の中に適当な用語を、下の語群の中から選び、記号で答えなさい。

・日本国憲法第25条では、「すべて国民は、(1)で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、全ての生活部面について、社会福祉、(2)及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」と規定されている。

・WHO憲章では、「健康」を「完全な肉体的、精神的及び(3)的福祉の状態であり、単に(4)又は病弱の存在しないことではない。」と定義している。

・かつて存在した感染症で、公衆衛生上ほとんど問題となくなっているが、近年再び増加してきたもの、あるいは将来的に再び問題となる可能性があるものを(5)感染症という。

| | | | | | | | | | |
|---|------|---|------|---|-------|---|----|---|----|
| ア | 二次 | イ | 平和 | ウ | 再興 | エ | 自由 | オ | 健康 |
| カ | 安全保障 | キ | 社会保障 | ク | 基本的人権 | | | | |
| ケ | 機能障害 | コ | 疾病 | サ | 経済 | シ | 社会 | | |

問2 次の記述について、正しいものには○を、誤っているものには×を解答欄に記入しなさい。

- (1) P R T Rとは、特別管理産業廃棄物のことである。
- (2) 貸おむつの衛生基準として、「黄色ブドウ球菌が検出されないこと。大腸菌群は、1枚あたり 5×10^4 個以下であること。」と定められている。
- (3) 一般家庭で使用した手ぬぐい、タオルその他これらに類するものは、クリーニング業法に定める「消毒を要する洗たく物」ではない。
- (4) 建築基準法では、引火性溶剤を用いるドライクリーニングを営む工場については、住居系地域や商業系地域における立地(建築)を禁止している。
- (5) テトラクロロエチレンの貯蔵用のタンク等は、地下に設置してはいけない。

問3 次の感染症の病原体となるものを下から選びなさい

- (1) マラリア
- (2) 水虫
- (3) 日本脳炎
- (4) とびひ (伝染性のうか疹)
- (5) 発疹チフス

| | | | | | |
|---|-------|---|------|---|----|
| ア | 細菌 | イ | ウイルス | ウ | 原虫 |
| エ | リケッチア | オ | 白癬菌 | | |

問4 次の記述について、正しいものには○を、誤っているものには×を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング所 (取次店を除く) の開設者は、工場及び事業場から公共水域に水を排出する場合は、水質汚濁防止法に定める特定施設の届出が必要である。
 - (2) クリーニング所における衛生管理要領に示された指定洗濯物の一般的な消毒方法の1つに、「さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素 250ppm 以上の水溶液中に 30℃以上で5分間以上浸すこと (この場合終末遊離塩素が 100ppm を下らないこと。)」がある。
 - (3) クリーニング所で使用されたテトラクロロエチレンや石油系溶剤などを含むゴミや廃油を処理するには、特別管理産業廃棄物管理責任者を選任しなければならない。
 - (4) VOCとは、揮発性を有し、大気中で気体状となる有機化合物の総称で、光化学スモッグを発生させる原因物質の一つである。
 - (5) 省資源化の具体策として、3Rと呼ばれる取組みが原則だが、最近ではこれにリデュース (廃棄物の発生抑制) を加えて4Rとすることもあ
- る。

洗たく物の処理に関する知識

問1 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) 顔料は、水に溶解もしくは分散する。繊維の種類によって適不適がある。
- (2) シミ抜きは、まず水溶性のシミを処理し、次に油性、不溶性のシミの順に処理を行う。
- (3) 塩化ビニル素材は、塩化ビニル樹脂をコーティングしたものであり、ドライクリーニングを行う。
- (4) アセテートは絹に似た光沢と深みのある鮮明な発色を特長とし、燃やすと、酢の臭いがする。
- (5) 抗菌防臭加工製品は、水洗いの場合には、中性洗剤を使用し、塩素系漂白剤の使用は避ける。

問2 次のドライクリーニングに関する記述の()にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

ドライクリーニングでは、(1) 汚れを容易に落とすことができ、ランドリーと比べ衣類の型くずれや収縮等は(2)。洗いは様々であるが、(3)とは、あらかじめドライ溶剤にドライ洗剤を添加して洗う方法である。ドライ溶剤には、油脂溶解力が小さく、比重が軽いため、ソフト洗いに適している(4)や、生産性に優れるものの風合いが硬くなりやすい(5)などがある。

| | | | |
|-------------------|------|---------|-------|
| ア：水溶性 | イ：油性 | ウ：大きい | エ：小さい |
| オ：チャージシステム | | カ：バッチ洗い | |
| キ：テトラクロロエチレン（パーク） | | ク：石油系溶剤 | |
| ケ：HCFC-225 | | コ：エタン | |

問3 次のランドリーに関する記述について、()の中の語句のうち、正しいものを選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 予洗の水量は、本洗いよりも(ア:多め イ:少なめ)にする。
- (2) 洗剤は界面張力を(ア:上昇 イ:低下)させる働きがある。
- (3) 初回すすぎは、(ア:常温の イ:洗濯温度と同じ)水温で行う。
- (4) 仕上げ工程には、殺菌効果が(ア:ある イ:ない)。
- (5) 染色物の洗濯の際には、移染を防ぐために水量は(ア:多く イ:少なく)する。

問4 次のランドリー用助剤に関する記述と最も関係の深い語句を下の語群の中から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 緩衝作用やビルダー効果があるため、アルカリ助剤として洗剤と併用される。
- (2) 低温で漂白効果がある。生地を損傷しやすいので使用には注意が必要である。
- (3) 自己乳化型のカチオン界面活性剤が成分であり、繊維に吸着して加脂効果を発揮する。
- (4) 水溶性高分子物質であり、再汚染防止効果に優れる。
- (5) 40℃以上で漂白効果を発揮する。金属と反応して生地を損傷するため、含金染料染色物には、使用できない。

ア:柔軟剤

イ:メタ珪酸ナトリウム

ウ:CMC(カルボキシ・メチル・セルローズ)

エ:次亜塩素酸ナトリウム

オ:過炭酸ナトリウム